

2023年9月24日(日)第四主日礼拝

イザヤ書46章13～16節

『わたしはあなたを忘れない』

序論：

- ①日本の教会の現状は厳しい。しかし、神の思いは人の思いよりも高くにある。
- ②13節の「天よ…地よ…山々よ」とは、イスラエルだけでなく全世界に向けての言葉である。

本論：

1. 神は私たちの苦難を知っているから

- ①神の慰めと救いの宣言を、イスラエルはどう受け止めましたか。
- ②イスラエルの苦難はどうして起きてしまったのですか。
- ③神はご自分の民が苦しんでいるのをどう見ておられると思いますか。

2. 神は私たちを決して忘れないから

- ①目の前の現状に打ちひしがれるイスラエルを、神はどのように接していかれましたか。
- ②母親と乳飲み子との間にはどのような信頼関係がありますか。
- ③たとえ母が自分の乳飲み子を忘れても、神は私たちを忘れないとはどういうことですか。

3. 神は私たちをいつも見ているから

- ①神が自分の手のひらに私たちを刻んだとはどういうことですか。
- ②「あなたの城壁は、いつもわたしの前にある」とはどういうことですか。
- ③「あなたを守る方は まどろむこともない。」(詩篇121:3-8)とはどういうことですか。

まとめ：

あなたは今日のメッセージから何を教えられ、どんな決心をされましたか。